

シチズンサポートプロジェクトによる 孤独・孤立の一次予防

コミュニティー・シェッドによる新たな居場所づくりと効果検証

孤独・孤立は、さまざまな疾患のリスク因子となっており、孤立・孤独を生まない体制や社会の構築は喫緊の課題と言えます。2022年10月より科学技術振興機構社会技術研究開発センター（JST-RISTEX）SOLVE for SDGs 社会的孤立枠では、「シチズンサポートプロジェクトによる社会的孤立・孤独の一次予防」がスタートしました。高齢者が新たな社会的つながりや生きがいを見つけられる居場所（コミュニティー・シェッド）を立ち上げ、その効果を作業療法学・心理学・脳科学などの観点から学際的に検証するものです。1年6ヶ月のスマールスタート期間を経て、2024年4月より本格研究開発期間に進み、これからプロジェクトの活動がより大きな規模で進んでいきます。本格研究開発期間の3年間で我々がどこまでコミュニティー・シェッドを日本に根づかせることができるか、コミュニティー・シェッドの効果に関わる科学的なエビデンスを提供できるのか、皆様との議論を通してゴールへ向けてのプロセスを明確にし、孤独・孤立対策への志を新たにしたいと考えています。

日時

2024年 **5月24日** 金
14:00-17:00 (13:30開場)

会場

名古屋大学教育学部
1階・第2講義室



オンライン配信なし

[定員] 30名

■ 第一部 コミュニティー・シェッドの社会実装

- 松尾 崇史 (熊本保健科学大学)
高島 理沙 (北海道大学)
松家 洋一 (札幌市西区コミュニティー・シェッド「ポツケコタン」)(録画)
西山 雅子 (日本コミュニティー・シェッド協会、「こごボラ」)

■ 第二部 社会的孤立・孤独のメカニズム理解

- 五十嵐 祐 (名古屋大学)
吉田 一生 (北海道大学)
竹本あゆみ (東北大学)
豊島 彩 (島根大学)

■ 総合討論

司会

伊藤 文人 (東北大学、プロジェクト代表)

参加登録は
こちらから→

※本取り組みは、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）社会技術研究開発センター（RISTEX）より支援を受けた「SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム（社会的孤立・孤独の予防と多様な社会的ネットワークの構築）」研究開発プロジェクトにて実施するものです。（ Grant番号：JPMJRS22K3）

[主催] 名古屋大学「シチズンサポートプロジェクトによる社会的孤立・孤独の一次予防」研究班

[共催] 日本コミュニティー・シェッド協会

[後援] JST-RISTEX「シチズンサポートプロジェクトによる社会的孤立・孤独の一次予防」研究班